

# 普天間返還！ 辺野古新基地撤回を！

## 沖縄の民意を無視した辺野古新基地建設 NO！

沖縄は今、県知事選の真っ最中です。民主党菅政権が、5月28日の日米合意を踏襲し、辺野古に新基地建設をするという姿勢を示して以来、沖縄県民は約束違反の「県内移設」に怒りの声をあげ続けてきました。普天間返還、辺野古新基地建設反対の民意を受けて、宜野湾市長の伊波洋一さんが知事選に立候補して闘っています。新基地建設に対する沖縄県民の強い反発の意思は、自民党が支持し「県内移設」容認の現職の仲井真候補でさえ、「県外移設」を言わざるを得ない状況になっています。沖縄の民意が、普天間即刻返還・辺野古新基地建設反対にあることは明らかです。

## 「領土問題」は軍事力強化を図る隠れみの！

民主党の外交・安全保障調査会がまとめた、新たな防衛計画大綱（防衛大綱）に関する提言の素案が16日に明らかになりました。

この素案のなかでは、尖閣「領土問題」、対中脅威論に乗じて、沖縄本島の陸上自衛隊第15旅団（約2100人）の師団（約8000人）化などの南西諸島の軍事力強化を盛り込んでいます。宮古島以西、台湾の目と鼻の先の与那国島までを自衛隊の対中前線基地と成そうとするものです。

中国に対する軍事挑発であり、軍事的緊張を増すばかりの大変危険な政策です。一触即発の危機も生み出しかねません。私たちはこのような政策に絶対に反対です。

## 民主党政権の軍拡政策に反対！

素案では、武器輸出三原則の緩和も盛り込み、三木内閣以来の平和外交の原則をないがしろにしようとしています。

「国際平和協力活動」の名の下に、自衛隊をいつでも海外派兵できるようにしようとする、いわゆる「恒久法」の制定も盛り込んでいます。

いずれも、自民党政権下でも実現できなかった、危険な軍国主義的政策です。国民的な反対の世論によってこの危険な政策を封じ込めなければなりません。平和な未来を求めて声を上げて行きましょう！（2010.11.20）

ダブルスタンダード



(2010. 11)

イラスト by 壺花花

## キャンプ座間

# 米軍と共に海外で戦争する陸上自衛隊部隊の司令部 中央即応集団司令部の施設建設反対！

11月4日、防衛省南関東防衛局がキャンプ座間への陸自中央即応集団司令部の建設計画を相模原市に説明に来ました。地上6階・地下1階の庁舎・隊舎の建設に来年の3月には着工し、2013年3月までに完成させるという内容です。(場所は、右地図の位置)

米陸軍の第1軍団の司令部移駐は小規模なものにとどまっていますが、2006年の米軍再編ロードマップ合意通りに、いよいよ、自衛隊の海外派兵部隊(=海外で米軍と共に侵略戦争に参加する能力を持つ部隊)の司令部がこのキャンプ座間にやってくるのです。座間市ではこれに関連して、返還地への自衛隊家族宿舍の建設計画が病院誘致と抱き合わせで進められようとしています。

座間・相模原の市是に反して、キャンプ座間の強化・恒久化につながり、且つ、この街が、米国の戦争に加担する街になることになる、中央即応集団司令部のキャンプ座間移駐を市民はまだ受け入っていないぞ！と、あらためて声を上げなければならない状況です。

この街を、ますます基地の街とする施設の建設に反対する意思を表しましょう！(2010.11.20)



### 案内

#### ●12.18 座間行動

#### 「米陸軍第1軍団前方司令部移駐から3年

#### 陸上自衛隊中央即応集団司令部は来るな！12.18 座間行動」

日時：12月18日(土) 13:00 集合 13:30～集会 14:10～デモ出発

場所：座間公園

デモコース：座間公園→大坂台公園(体育館) 約1km

※途中で申し入れ(米軍&自衛隊)、チェーン行動

メッセージを書いたリボン・ハンカチ・横断幕などを持ちよって下さい！

主催：神奈川平和運動センター・県央共闘会議・バスストップの会・歓迎しない会

#### ●12.4 講演会(キャンプ座間への米陸軍第1軍団の移駐を歓迎しない会第7回総会記念講演)

#### 「キャンプ座間強化の動き 米軍再編と自衛隊」

講師：半田滋さん(東京新聞編集委員)

日時：12月4日(土) 18:20～歓迎しない会総会開始 (記念講演は19:00頃からを予定)

場所：オダサガプラザ(小田急相模原駅ビル4F)

参加費：500円 (講演会には歓迎しない会の会員でない方も参加できます。ご参加お待ちしております。)